

平成21年度第3回

八王子市市史編集委員会

日 時：平成21年8月2日（日）

午後2時から

場 所：八王子市市史編さん室

【次 第】

- 1 . 開会
- 2 . 専門部会の活動状況について
- 3 . 市史編集方針（案）について
- 4 . その他
- 5 . 閉会

（配付資料一覧）

- 資料1 市史編集専門部会調査活動報告
- 資料2 八王子市市史編集方針（素案）

資料 1

平成 2 1 年 8 月 2 日
八王子市市史編集委員会

市史編集専門部会調査活動報告

(平成 2 1 年 6 月 ~ 7 月分)

部 会 名	平成 21 年度 第 2 回 原始・古代 部会	開催（実施）日時 平成 21 年 6 月 15 日（月） 午前・ <u>午後</u> 6 時 00 分～ 午前・ <u>午後</u> 8 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	関 和彦	専門員氏名 馬場 有美
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 関 和彦 部会委員 池上 悟 及川良彦 黒尾和久 深澤靖幸 専門調査員 服部敬史 紺野英二 横田深雪 黒田智章 【事務局】新井雅人 馬場有美	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
<p>1．部会長より第 2 回編集委員会の報告</p> <p>(1) 古代から中世の区切りについて、中世部会長の庄の成立から説きたいという意思を確認した。</p> <p>(2) 他の時代区分では考古学をどのように扱うのか投げかけたが、他部会ではまだ煮詰めていない状態である。</p> <p>中世・近世・近代の考古学については部会間での調整が必要である。</p> <p>2．現在の作業状況報告と内容の確認</p> <p>(1) 八王子市域全体を見ることのできる遺跡分布図のパソコン上での作成を目指し、その基礎となる作業を事務局が進めている。東京都遺跡地図を参考にイラストレータを用いて、遺跡の範囲を地図に書き込んでいく。基礎ができ次第、専門調査員が加わり作成を進める。</p> <p>(2) 現在事務局で、東京都遺跡地図を基に八王子市域の遺跡と文献リスト（Excel データ）の作成を進めている。遺跡のデータとして追加したい項目を挙げ、作成したリストに加えていく。</p> <p>(3) 八王子市が発行した報告書を市史編さん室に設置した。多摩ニュータウンの報告書については及川委員と調整し、東京都埋蔵文化財センターに協力いただき、設置を目指す。</p> <p>3．本編のイメージについて</p> <p>(1) 本編はわかりやすい読み物としたい。</p> <p>(2) 旧市史・わが町の歴史八王子、他自治体史等の目次を見て、新市史の目次をイメージする。本編は、これまでの時代区分でいくのか、新しい時代区分を提示するか、検討していく。</p> <p>4．資料編の課題</p> <p>(1) 全ての遺跡の概要を載せることは困難であるが、概要は市民の求めるものでもある。</p> <p>(2) 八王子の全体像と、主要な遺跡の詳細な報告がほしい。</p> <p>(3) 遺跡地図を地域ごとに載せ、特徴を明らかにしたい。遺跡地図の中には原始から近代までの</p>		

考古学の成果が入る。どこまで盛り込むべきか。

(4) 古代文献資料が少ない。

(5) 判型はどうするか。

資料編の編集方針について、次回の部会会議で話し合う。

5. 今後の活動予定

第3回原始・古代部会会議を開催する。

日時：7月31日(金) 午後6時から

議題： 資料編の編集方針について

遺跡データの追加項目について

及川良彦委員による弥生時代遺跡の報告

巡見の打ち合わせ

また、8月8日(土)に遺跡・寺社巡見を行う。

配布資料

部会長より『八王子市史 下巻』目次、『わが町の八王子』目次、『多摩の五千年 - 市民の歴史発掘』目次、『国立市史』目次、『くにたちの歴史』目次

事務局より「専門部会調査活動報告(第1回原始・古代部会会議報告)」「東京都遺跡地図のコピー」(八王子市域)」「八王子市遺跡リスト(見本)」

市史編さん室への寄贈資料

黒尾和久委員から

「多摩における中世前期の土器様相 - あきる野市二宮神社境内出土の中世土器をめぐって - 」『東京考古 No.27』2009年

「集落遺跡の形成過程 - 「環濠集落跡」形成プロセス - 」『縄文時代の考古学 8 生活空間 - 集落と遺跡群 - 』2009年

部 会 名	中世部会	開催（実施）日時 平成 21 年 6 月 21 日（日） 午前・午後 10 時 30 分～ 午前・午後 5 時 30 分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	池上 裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 池上 裕子 部会委員 加藤 哲 小林 一岳 櫻井 彦 【事務局】佐藤 広 渡部恵一 柳沢 誠	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
<p>1．平成 21 年度第 1 回部会会議（午前 10 時 30 分～12 時）</p> <p>（1）平成 21 年度夏期集中調査について</p> <p> 前回調査（5 月 31 日）の調査終了後打合せ内容を踏まえ、集中調査の日程・調査場所、調査内容、調査員について確認した。</p> <p> 日程：8 月 21 日（金）・22 日（土）・23 日（日）</p> <p> 調査場所：「由井野」周辺（上壱分方町・諏訪町・四谷町・泉町・叶谷町・大楽寺町・式分方町）</p> <p> 内容：旧家・寺社への聞き取り。地図等を用いた土地利用の復原。</p> <p>（2）平成 21 年度夏以降～22 年度の活動計画について</p> <p> 年間の部会活動費の確認とこれに基づく活動の計画、および調査対象地域・資料の検討。活動費の規模と用途については事務局より説明。</p> <p> 【平成 21 年秋以降の調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋（日程調整中）尊経閣文庫所蔵文書調査（天野文書ほか） ・12 月（日程調整中）京都方面調査（東福寺所蔵武蔵国船木田荘関係文書ほか） <p>2．第 3 回実踏調査（湯殿川上流、片倉城。午後 1 時 30 分～5 時 30 分）</p> <p> 【順路】龍見寺 浄泉寺・・・御霊社・・・（湯殿川沿を歩き龍見寺へ戻る） 片倉城は車、・・・は徒歩。</p> <p>（1）龍見寺（館町） 大日如来拝観・聞き取り</p> <p> 市内で最古の仏像とされる大日如来（平安末期作、都指定文化財）を拝観したのち、野上良仁住職より大日如来の遷移や寺の創建に関わるお話をうかがった。大日如来はもと館町南方の堂平（堂側とも。現拓殖大学構内）に所在していたが、のち現寺地裏山の</p>		

堂山に移転、更に現在地に移転したという。龍見寺は大日堂の別当庵として開創したものであるという。天正9年の浄泉寺文書（現存せず、下記参照）に「龍見寺屋敷」とみえる。

(2) 浄泉寺（館町） 境内巡見

北条氏照家臣近藤出羽守の館跡の伝承をのこす。『新編武蔵国風土記稿』には、天正9年の榜示（敷地）を示す近藤出羽守制札が所載されているが現存しない。寺の裏から北西からは初沢城と八王子城山をよく望むことができる。

(3) 御霊神社（館町）境内巡見

浄泉寺の北、湯殿川沿いに鎮座。鎌倉権五郎の伝承を持つ。前出天正9年浄泉寺の近藤出羽守制札に「御霊宮川榜示」とある。館村の鎮守。

(4) 片倉城（片倉町）城内遺構見学

城内の縄張りを見学。二の丸から北西を望むと八王子城山、南東は杉山峠を望むことができる。鎌倉街道を監視する役割があったものと考えられる。堀跡や櫓跡を確認した。

【配布資料一覧】

1. 1万分1地形図
2. 『新編武蔵国風土記稿』多摩郡八巻（文献出版、平成8年〔1996〕）のコピー。
3. 縣敏夫『八王子市の板碑』（揺籃社、平成17年〔2005〕）のコピー。
上記2、3および関係資料数点を合綴した調査のしおりを作成し参加者に配布した。

部 会 名	中世部会	開催（実施）日時 平成 21 年 7 月 18 日（土） 午前・ 午後 1 時 30 分～ 午前・ 午後 5 時 30 分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	池上 裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 池上 裕子 部会委員 加藤 哲 小林 一岳 櫻井 彦 【事務局】佐藤 広 柳沢 誠	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
<p>平成 21 年度第 2 回部会会議を開催した。</p> <p>前半は今後の予定と 8 月に予定している集中調査の打ち合わせを行い、後半は先の八王子市史の編集・執筆に携わった佐々木蔵之助氏から、市域の旧家や資料についての情報をお聞きした。</p> <p>1．今後の予定について調整</p> <p>（1）尊経閣文庫所蔵文書調査の日程等の調整（9 月～10 月） 由比郷に所領を有した天野氏の譲状（文保元年〔1317〕6 月 7 日関東下知状〔天野文書〕）ほか数点の閲覧・調査。</p> <p>（2）京都方面調査の日程等の調整（12 月中旬） 東福寺所蔵文書（文和 3 年〔1354〕東福寺領武蔵船木田庄年貢代付物送文ほか）数点の閲覧・調査。</p> <p>2．平成 21 年度夏期集中調査について打合せ（8 月 21 日（金）～23 日（日））</p> <p>（1）対象地域について 元八王子地区北部（八王子市上壺分方町・諏訪町・四谷町・泉町・叶谷町・大楽寺町・式分方町）周辺。 上壺分方・大楽寺 / 諏訪町・四谷町・泉町・叶谷町 / 式分方町の 3 つの区域に分け、3 班で調査する。</p> <p>（2）3 日間のスケジュール等について 事務局提案スケジュールを検討。移動手段・や調査用具について確認。</p> <p>（3）調査内容について 旧家・古老・寺社（檀家・氏子総代等）への聞き取り。 地図等を用いた古い道・地形等の確認 板碑調査（未調査資料の実測・拓本取り）</p>		

資料撮影

(4) その他

事務局より専門調査員依頼状況等の報告。

3. 佐々木蔵之助氏との懇談

佐々木氏より元八王子地区を中心として中世～近世の市域全体の資料情報を含む歴史的環境や伝承等につきお聞きした。具体的には旧家情報や旧跡の伝承地、あるいは八王子城下の推定地等について、部会委員との意見の交換も行われた。

【配布資料一覧】

1. 『多摩文化 元八王子の研究』(『多摩文化』14号) 昭和39年(1964)より、村田光彦「村落史話」、同「城東俚談」、「大楽寺他六ヶ村々誌=皇国地誌」の各コピー。
2. 元八王子歴史研究会『由井野』5号(平成6年〔1993〕)、同7号(平成8年〔1995〕)、同10号(平成11年〔1998〕)、第11号(平成13年〔2000〕)の関係箇所のコピー。
3. 旧市史編集室作成新町境トレース図(元八王子地区)
4. 大正10年測図2万5千分1地形図 拝島・八王子のコピー

部 会 名	近世部会	開催（実施）日時 平成 21年6月28日（日） 午前・午後 10時00分～ 午前・午後 5時00分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	藤田 覚	専門員氏名 白石 烈
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 藤田覚 部会委員 神立孝一 光石知恵子 山崎圭 【事務局】佐藤広 新井雅人 白石烈	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
1．上恩方町の実踏調査 上恩方町の社寺や旧家の位置の確認および景観調査。旧名主家当主や口留番所関守の子孫から直接話を伺うこともできた。		
2．市外の史料調査について (1) 財団法人江川文庫の調査 本調査の前に、事務局で下見を兼ねた調査を行う。 (2) 山梨県の史料調査 具体的調査計画策定の準備として、事務局が山梨県立博物館所蔵史料の整理状況を確認する。		
3．資料編のテーマについて (1) 主要な文書目録を検討した結果、設定可能と思われるテーマ 生糸・織物、林業・山林用益、幕末政治情勢と地域の関わり、旗本知行主との関わり、河川利用と治水など (2) その他必要と思われるテーマ 信仰（高尾山薬王院）、文化、千人同心の文化活動、国学、剣術など (3) 18世紀～19世紀は目途が立ちそうだが、17世紀が課題。		
4．郷土資料館所蔵および寄託資料の閲覧について (1) 部会委員が閲覧できる方法を、事務局が調整する。 (2) その後、各部会委員は資料編に入れたいと思う資料の紙焼き等を随時行っていく。		
5．今後の検討課題 (1) 各部会委員の分担決め		

(2) 資料編等の章立て決め

1年以内に行う必要がある。

(3) 専門調査員の選定

部会委員の推薦の他に、事務局で選定作業を行う。

6 . 次回の部会

(1) 7月24日(金)午後1時より

(2) 会議前に小比企町磯沼家周辺を実踏調査する。

(3) 他自治体史の章立てを比較検討する。

【配布資料一覧】

1 . 山梨県甲府市坂田家文書より八王子関係記述の一覧

2 . 財団法人江川文庫への照会結果

3 . 上恩方町草木家文書、犬目町小野家文書、小比企町磯沼家文書、鑓水大塚家文書より主要項目の抜粋一覧(各部会委員作成)

部 会 名	近現代部会	開催（実施）日時 平成 21 年 7 月 6 日（月） 午前・ 午後 4 時 00 分～ 午前・ 午後 6 時 30 分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	新井 勝紘	専門員氏名 中村 元
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 新井勝紘 部会委員 梅田定宏、齊藤勉、源川真希 【事務局】佐藤広 新井雅人 渡部恵一 中村元	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>1．前回会議以降の市史編さん事業の経過について 前回5月18日の部会会議以降の市史編さん事業の経過および近現代資料の整理・把握の状況について、事務局より説明。また今後八王子市議会事務局所蔵の市会会議録の目録作成、市立小・中学校の資料所在確認調査をおこなう予定である旨説明。 市立小・中学校のみではなく、市内に古くからある高校についても調査を実施してはどうかとの意見あり。</p> <p>2．近現代部会の調査体制について （1）部会長・部会委員が担当を希望する分野・テーマの確認。 前回の部会会議で各部会委員の検討課題となっていた、各自担当を希望する分野・テーマを確認。確認の結果は以下の通り。 ・新井部会長 - 民権運動期、戦後の地域文化運動、地域と戦争の関わり ・梅田委員 - 観光、大正～昭和にかけての八王子の変化、広域行政 ・齊藤委員 - 戦時期、戦後占領期の八王子 ・源川委員 - 明治20年代～昭和初期の旧町村の行政・政治、昭和30年代以降の地域政治 （2）近現代部会の人員補充について 前回の部会会議で各部会委員の検討課題となっていた、今後八王子の近現代を扱うにあたって重視すべき分野を検討。検討の結果は以下の通り。今後この分野の専門家に部会への参加を依頼することを決定。 イ．現代の市政 ロ．経済史 ハ．織物と社会 ニ．天皇陵と地域 ホ．開発（ニュータウン開発と住民）</p>		

3. 近現代部会の今年度調査計画について

近現代部会の今年度調査計画を検討。その結果当面行なうこととなった調査・作業は以下の通り。

(1) 市内外の歴史的資料の所在調査・整理・目録作成

【所在調査候補に上がった市内外機関】

- ・八王子織物工業組合
- ・八王子市農業協同組合
- ・旧八王子信用金庫資料
- ・八王子労働基準監督署
- ・ハローワーク八王子
- ・東京都公文書館
- ・横浜開港資料館

(2) 『八王子市史』、『八王子市議会史』などの八王子市関係書籍で用いられている近現代資料の抽出、目録作成

(3) 八王子関連新聞記事の見出し目録作成

(4) 橋本鋼二氏所蔵橋本義夫関係資料の目録作成

4. その他

(1) 次回会議までの各部会委員の検討課題の設定

次回会議までに部会委員は各自の担当分野・テーマの資料収集のために必要な作業を検討。

(2) 次回部会会議の日程決定

次回の部会会議は、8月24日の16時より市史編さん室にて開催。

以上。

【配布資料一覧】

1. 八王子市史近現代部会 調査体制検討用参考資料
2. 平成21年度八王子市史近現代部会活動計画(案)
3. 近現代部会活動計画表(仮)

平成 2 1 年 8 月 2 日
八王子市市史編集委員会会議資料

八王子市市史編集方針（素案）

今日の地域社会は世界との強い関係をもち、社会・経済・文化等の急激な変化を経験し、多様な課題が生じている。それらの課題を適切に理解し対応するためには、地域を歴史的・総合的に考察することが重要である。

つまり、新たな時代に対応した八王子市を築くためには、生活する市民の視点から、あらためて地域を調査・研究し分析することが求められている。

- 1 八王子の歴史や自然を総合的、かつ具体的に把握して考察する。
- 2 時代は単一の時系列に固執することなく、地域を基本とする視点から、時代区分や分野を柔軟に取り扱う。
- 3 対象とする地域は現在の八王子市を基本とし、事項に応じて広範な地域にも配慮する。
- 4 本編と資料編の判型は、原則、本編はA 5 判（148 × 210mm）1段組み・800ページ以内、資料編はA 5 判2段組、1000ページ程度とする。
- 5 執筆要項等、編集に必要な事項は別に定める。